

※被災年は●

関川流域自治会 意見交換会における流域委員会委員の受けとめ

関川流域

自治会名	出席者 /	被災経験				治水について	利水について	環境について	その他
		S	S	S	H				
下流	上越市 西本町3丁目	関川河口より 2km 関川左岸 河川なし		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧直江津市で一番低い所で水害が多い ○ 天王川は水つきが多い ○ 関川への出口部の砂を取り除く必要がある ○ 保倉川の分流により関川も助かる 		○ 子供の頃は、関川で遊んだ	○ イメージする川は関川や天王川である
	上越市 稲田2丁目	関川河口より 8.2km 関川右岸				<ul style="list-style-type: none"> ○ 以前は水害を被っていたが、改修し現在の堤防になってからは安心である ○ 堤防を高くしたら鴨島が水に浸かるようになった ○ 大雨時に水位が予測できると良い 	○ 田んぼにとって関川は命綱である	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道がないため、排水が川に流入している ○ 関川の魚は種類が変化している ○ 昔は泳いだ。堤に桜があり、土の川岸で遊んだ ○ 改修でコンクリート護岸となり、親しめなくなった 	
	上越市 島田	関川河口より 12.5km 関川左岸	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7.11 は田に水が流入し住宅の被害は免れた ○ 堤防に囲まれ水の出口は1カ所だけである ○ 災害復旧事業で安全になり、水防活動は減った ○ 霞堤のような知恵を取り入れたい 	○ 関川は利水の対象である	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水質は悪い印象がある ○ 昔は魚がたくさんいて遊んだが、復旧後、川や生き物と触れ合わなくなった ○ 水の流りが速くて怖く、遊べなくなった ○ 親しみのある川にしてほしい 	
上中流	妙高市 上四ツ屋	関川・矢代川合 流点より7km 関川左岸					○ 夏に水が不足するのが最大の課題である	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活排水が入らないので比較的きれいである ○ 昔はいろいろな魚がいたが、今は減った ○ 昔は川で遊んだが今は遊ばない ○ 水の確保をどうするか 	
	上越市 中郷区板橋	関川・渋江川合 流点より5km 関川左岸			●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宅地は大丈夫だが農地が水害の被害を受ける ○ 昔は必死で川を管理し農地を守った ○ 護岸が整備されていないところがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業用水の確保が重要である ○ 農業用水の取水口など補修したい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水質が変化し、生き物も変わった ○ 河川改修してから虫がいなくなった ○ 昔は川で遊び魚を取ったが今はやらない ○ きれいで魚や昆虫の棲む川にしたい 	○ 知識を得て広い視野で考え、行動したい
	上越市 板倉区南中島	関川河口より 16km 関川右岸 河川なし	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7.11 災害時は、上流で堤防が切れて水がきた ○ 河川改修によりこの辺では安心感が増した ○ 過去の経験を伝える活動も重要である 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 水質は良くなっているのか ○ 環境の良い川には魚がいなくてはいけない ○ 生き物の住む川づくりは管理等の問題が絡む ○ 堤防に広場など川と遊べる環境が必要である 	○ 川に関心を持ってもらう活動をしていきたい
	妙高市 美守	関川河口より 18km 関川左岸			●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7.11 では恐ろしい思いをした ○ 7.11 水害の要因は何か ○ 災害を防ぐためには、河川管理を十分にする必要はある 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 水質を悪化させているのはなんだろうか ○ 魚がいらないのはどうしてか ○ 社会情勢の変化とともに、河川整備のかたちも変わる ○ 住民が草刈等しているが行政の管理はどうか 	
	上越市 清里区武士	関川・櫛池川合 流点より5km 関右岸・河川なし・ 近くに中江用水				<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害による直接の被害がないのですぐに忘れてしまう ○ 流木が川を塞ぐことがないように雑木の管理をする必要がある 	○ 用水は渇水期にほとんど水が流れていない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道工事が終わっていることもあり、水がきれいなイメージがある ○ スギ人工林をブナ林に戻すことで水も良くなる 	○ この地区の住民が思う近くの川は櫛池川や用水である
	妙高市 大鹿	関川河口より 35km 関川右岸			●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短い川なので、雨が降ると一気に水が溢れる ○ 7.11 水害後の改修で治水はよくなった(田んぼの被害くらいはあるかもしれないが住宅は心配ない) 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔は川に親しみがあり泳いだり魚をとって遊んだ ○ 今は流れが速く危険で、川に親しみがもてない ○ 改修 10 年で少し自然な様子に近づいてきた ○ 川と触れ合えるようにしないと川への親しみや多様な活動が育たない 	○ 山の話から流域を考えて欲しい
	妙高市 杉野沢	関川河口より 52km 関川左岸			●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7.11 前は川が流れる道を変え、蛇行していた ○ 改修後は水が速やかに流れていくので安心 ○ 小谷沢の人は川に詳しく、昔から被災していないため、逃げない 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道の整備が遅れている ○ 上流の下水道整備は流域全体のためである ○ 地区の子供は川にいかない(遊ぶのは外の人) ○ 改修後の親水公園は昔の面影が全くない 	

※被災年は●

保倉川流域自治会 意見交換会における流域委員の受けとめ

保倉川流域

自治会名		出席者 /	被災経験 S S S H 56・57・60・07				治水について	利水について	環境について	その他
下流	上越市 春日新田 関川・保倉川合流点より0.5km (保倉川左岸)		●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害常襲地帯。大雨が降ると水がじわじわくる ○ 改修後、以前田だった所や用水から水がくる ○ 家を建てる時に床の高さを上げている ○ 樋門の管理に問題がある ○ 保倉川の分流も考えなくてはならない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利水は農業が主である 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔は川で遊んだが今は水質が悪いので危ないといわれる ○ 都会の川よりきれいなはずだし、河川敷や川で遊べるようになるよとい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政と住民が話し合うのは難しい。行政は機会を提供しないし、住民からは話しかけない
	上越市 安江2丁目 関川・保倉川合流点より2km (保倉川左岸)		●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害常襲地帯。バイパス完成後水害がふえた ○ 河川改修、排水ポンプなど適切にしてほしい ○ 水防活動について行政の指導支援が欲しい ○ 行政は横のつながりを強化、情報提供を望む 			
	上越市 頸城区西福島2 関川・保倉川合流点より2km (保倉川右岸)			●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害経験が多い。保倉川に排水できない ○ 保倉川の堤防はかさ上げされたが、水田を宅地にしてから水がはけず、浸水被害がでてきた ○ 天気予報の精度が上がり、出水に対応できる ○ 自分で備えることも必要 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 保倉川の水は濁っている ○ 以前は川で遊び魚をとった ○ 今は子供を川で遊ばせない ○ 河川改修により人が川から遠ざけられた ○ イメージが悪い。きれいで人が集まる川にしたい 	
	上越市 頸城区望ヶ丘 関川・保倉川合流点より5km (保倉川左岸)					●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7.11 水害で大きな被害を受けた ○ 宅地が多いので、治水を最優先にして欲しい ○ 河川形状、調整池、分水路等、わからないことが多い 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 保倉川の水は、上流はきれいだが下流は汚い ○ 子供の頃は魚もいたし川遊びもした ○ 川に親しめるような構造にできると良い ○ 環境はこの地域だけではどうしようもない 	
	上越市 頸城区榎井 関川・保倉川合流点より8km (保倉川右岸・河川なし)						<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地の排水が悪く、農家以外は水害はない。 ○ 水に困っているところを親身に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔から榎井の用水は重要だった 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保倉川の水は常に泥水である ○ 昔は魚とりなど川遊びをしていた ○ 今はコンクリート護岸が造られ生き物が減った ○ 昔は皆で川を利用し管理していた 	<ul style="list-style-type: none"> ○ このあたりは用水路しかない ○ 治水、利水、環境の流れで住民も考えていかなくてはいけない
上中流	上越市 三和区北代 保倉川・桑曾根川合流点より9km (保倉川左岸)						<ul style="list-style-type: none"> ○ 川が蛇行し、河岸林ごと河岸を崩す ○ 桑曾根川の改修を望む ○ 河岸林が抜けない護岸にして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稲作の水はため池を利用する ○ 循環装置により水を節約している 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親しみやすい里山地域である ○ 昔は桑曾根川も水がきれいで遊ぶこともあった ○ 今はゴミが流れてくるなど環境が悪い ○ 河岸が急で降りられず危なくて掃除もできない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本日の成果を、地区の皆にPRしたい
	上越市 浦川原区上岡 関川・保倉川合流点より22km (保倉川右岸)						<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔は水害常襲地帯で河川改修が行われた ○ 改修済みのところと未だのところがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水は融雪期に多く夏少ない。主に天水、山の湧水、沢水を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地すべり地帯で雨が降ると濁り、生活排水が入るため、清流ではない。 ○ 河川改修後、魚が上ってこなくなった ○ 昔は川で遊んだが、今は生活から川が離れた 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イメージする川は猿俣川である
	上越市 牧区高尾 保倉川・飯田川合流点より18km (保倉川左岸・河川なし)						<ul style="list-style-type: none"> ○ 折居川は水は溢れないが、地すべりが問題 ○ 地すべり防止のため川や沢、棚田の管理が必要 ○ 地区外の人々の力を借りている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ この地域は棚田で雪解け水を利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔は川がきれいで生き物も多く、よく遊んだ ○ ひとより水はきれいになっている ○ 今は危ないので子供を川に行かせない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イメージする川は折居川である
	上越市 安塚区真萩平 保倉川・小黒川合流点より10km (保倉川左岸)						<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害を防ぐために、田や用水は自分たちで管理している ○ 小さい地滑りには町単位で対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ○ この地域は天水田で、雪解け水や雨水を貯めている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地滑りで水が濁る。田が減り川の水が減少した ○ 生き物が減った。魚が食べられなくなった ○ 昔は川で遊んだが今は遊ばない ○ 都会の子供は川遊びが好き ○ 川への関心を高める必要がある 	
	上越市 大島区細越 関川・保倉川合流点より34km (保倉川右岸)						<ul style="list-style-type: none"> ○ この地域では川底が掘れる。川が深くなり浸水しなくなったが、消防ポンプが届かなくなった。また、水害への関心が薄れて住民は避難場所を知らなくなった ○ 川底が掘れない堰堤や擁壁を造って欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大ぶけ用水に対してなぜ市町村が負担金を出さなくてはならないのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひとりは汚物を流すこともあったが、合併処理浄化槽を設置して、水がきれいになってきた ○ 昔は魚も多く、刺身でも食べたが、今はしない ○ 昔は川で遊び、泳いだ ○ 清流を取り戻して小中学生に遊んでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関川といわれてもピンとこない。保倉川である